

ユタ大学のマリOTT図書館 における利用者教育

大 城 善 盛

1. はじめに

大学図書館における利用者教育に関してはアメリカが遙かに進んでいる。筆者は、以前にわが国の大学図書館の参考に資するため、1970年代以降のアメリカの大学図書館の利用者教育の動向を考察した。そしてまた、UCLAのカレッジ図書館における利用者教育を紹介した。¹⁾その後、アメリカの大学図書館の利用者教育に関する文献を読んだり、リストサーブ BI-L から送られてくるメールを読んだりしているうちに、ユタ大学図書館がすばらしい利用者教育を行っていることが分かった。そして、ユタ大学の利用者教育は情報リテラシー教育に進展していることを発見した。この小論では、ユタ大学の実質的中央図書館であるマリOTT図書館における利用者教育について紹介し考察を試みる。

2. ユタ大学および大学図書館の概要

ユタ大学 (University of Utah) は 1850 年に創立された、ミズリー河以西では最も古い州立大学である。所在地は州都のあるソルトレイク・シティ (Salt Lake City) である。ソルトレイク・シティといえば一般的には、モルモン教の教祖でかつ市の創建者でもあるブリガム・ヤング (Brigham

Young) の名前を付けて創立されたモルモン教系のブリガム・ヤング大学 (Brigham Young University) が連想される。ユタ大学はユタ州で、そのブリガム・ヤング大学に次ぐ有名な大学である。

ユタ大学は現在、人文学部、芸術学部、社会・行動科学部、教育学部、商学部、健康学部、医学部、看護学部、薬学部、理学部、建築学部、工学部、鉱山・地球科学部の13学部と継続教育部 (Division of Continuing Education) を有する総合大学である。規模的には、フルタイムの学部学生約1万8千人、パートタイム学生約4千人、大学院生約4千人、専任教員約1,400人、非常勤講師約300人を擁するアメリカでは中規模の大学である。

入学の難易度に関しては、州立大学であるため希望する学生の90%以上が入学できる。しかし、州外の学生 (out-of-state student) が入学を希望する場合、他の州立大学同様、3倍近い授業料を払わなければならない。ソルトレイク・シティは山あり、湖あり、砂漠ありで大学はアウトドア活動に恵まれた環境の中にあるが、大学はクォーター・システム (quarter system) を採用しているため2ヶ月余で学期が終わり、学生は学期中は宿題やテストに追われる状況にある。²⁾

大学図書館は、マリOTT図書館 (Marriott Library)、エックルズ健康科学図書館 (Spencer S. Eccles Health Sciences Library)、法学図書館 (Law Library) の3図書館で構成されている。マリOTT図書館が実質的な中央図書館で、220万冊以上の図書資料、1万3千点以上のカレント雑誌、約280万点のマイクロ資料、約77万点の文書類、約14万点の音楽レコード、約1万2千点のビデオやフィルム、約10万点のスライド、約17万点の地図、約350点のCD-ROMを所蔵している。特殊コレクションとして、アメリカ西部コレクション、モルモン教史コレクション、中近東コレクション、地質学・鉱山学コレクション等がある。マリOTT図書館は、

アメリカ政府や UNESCO の刊行物のデポジトリ (depository) であり、研究図書館協会 (Association of Research Libraries) の会員でもある。1996 年現在、48 人の専門司書と 132 人の一般事務職員で運営され、それに 65 人の学生アルバイトが補助をしている。³⁾

エックルズ健康科学図書館は、医学部、看護学部および薬学部の研究者や学生にサービスする図書館である。エックルズ健康科学図書館は組織的には分館ではなく独立している。そのような組織形態は、アメリカのプロフェッショナル・スクールに設置される図書館に一般的に見られる傾向である。図書館は、約 4 万冊の図書資料と約 1,600 点のカレント雑誌を所蔵している。そして、10 人の専門司書と 15 人の一般事務職員および 12 人の学生アルバイトでサービスに努めている。⁴⁾アメリカの大学図書館では、専門司書と一般事務職員の割合は、1 対 3 (または 1 対 4) が望ましいと言われているが、このエックルズ健康科学図書館の割合は 1 対 1.5 である。それは、データベース検索も含めて特殊な知識や技術を要求する専門図書館 (医学図書館) であることに起因する。

法学図書館は、約 19 万冊の図書資料と約 2,300 点のカレント雑誌、約 7 万 4 千点のマイクロ資料を所蔵している。そして、7 人の専門司書と 13 人の一般事務職員および 16 人の学生アルバイトでサービスに努めている。⁵⁾

3. マリOTT図書館における利用者教育

3.1 利用者教育のための基盤作り

ユタ大学図書館の利用者教育は、マリOTT図書館、エックルズ健康科学図書館、法学図書館で行われている。この小論では、実質的中央図書館であるマリOTT図書館で行われている利用者教育に焦点を当てる。

1980年代後半に情報技術が急速に進歩すると、ユタ大学はそれらを教授することの重要性を認識した。そして、情報技術教育も含めた学部学生の教育を強化するという大学の方針を打ち立てた。マリOTT図書館はユタ大学の研究および教育を支援する中核的図書館であるため、図書館も大学の方針変更に応じた。すなわち、図書館の教育的機能を最優先サービスの一つに掲げた。マリOTT図書館は、図書館調査と情報技術がますます複雑になっていくため、従来以上に学生を指導するには指導方法に改善を施したり、指導回数を増やしたりする必要性を認識した。1994年には技術指導図書館員 (technology instruction librarian) という新しい職種を設けた。そして、その技術指導図書館員を中心にさまざまな試みがなされた。1996年には図書館の組織を再編し、従来レファレンス部の中の1係であった利用者教育を独立させ、指導課 (Instruction Division) とした。そして、ニューメキシコ大学 (University of New Mexico) 図書館で利用者教育プログラムを成功させていたリンダ・セントクレア (Linda St. Clair) を課長として採用した。⁶⁾

セントクレア氏が課長に抜擢された理由が、以下の氏の論調から推測することができる。

People whose education largely consists of lectures, textbooks, and reading lists are not well prepared for problem solving in the complex world in which they work. Rather than go to authoritative sources for information needed for decision making, they tend to rely on other individuals who they hope will know more than they do on varying topics.

Faculty have the responsibility for developing in students the skills and knowledge base relevant for professional careers and advanced studies. Providing students with textbook assignments and reading packets are important

initial steps in instruction. These form the foundation of thoughtful classroom discussions and out-of-classroom assignments ; however, asking students to independently identify and analyze other resources such as articles from professional or scholarly journals, position papers compiled by professional organizations, or committee reports issued by governmental entities will help students to develop strategies that they will use in professional positions. Resource-based learning also contributes to the development of critical thinking. Instead of being receptacles of information, students become actively engaged in building strategies to find information and creating their knowledge base in specific fields. Rather than accepting any written article or computer-generated information as the ultimate and unchallenged truth, students also learn to examine and challenge information no matter the format or mode of presentation. They begin to seek conflicting viewpoints because they grow more confident in their abilities to analyze evidence. Resource-based learning bridges the gap between the classroom and what goes on outside of it.

Faculty develop courses and assignments that require students to find and use information from a variety of sources.” Only when faculty require students to use a variety of information resources as part of class assignments do students receive the message that the ability to locate, evaluate, and effectively use information is critical to learning. . . Librarians can provide critical information about which resources are available and how they can be evaluated and effectively used. Library research is a piece of the literacy puzzle, and librarians building bridges with the faculty is critical ; neither supplants the other. . . .⁷⁾

また、セントクレア氏は、教授たちに図書館調査を伴う宿題を学生に課

す際に、次のような点に留意するよう呼びかけている。⁸⁾

- 1) 宿題を課す前にレファレンス司書と相談すること。
(宿題のコピーをレファレンス司書に一部送ると、図書館はその宿題を学生が成し遂げられるよう資料的、人的用意ができる。)
- 2) 学生は図書館のことはあまり知らないと想定すること。
(辞典やシソーラス、または図書館目録の著者や書名からの検索法を知っている学生は多いが、複雑な統制語、雑誌の索引や抄録、電子情報源を知っている学生は極めて少ない。)
- 3) 宿題を明確に説明すること。
(宿題がどのようなものであるかを学生に明確に理解させ、どのような資料を利用しなければならないかを示唆すること。特定の資料に関しては、請求記号や配架場所も含めて完全な書誌事項を付けること。)
- 4) 図書館が宿題の解答に必要な情報(源)を所蔵していることを確認すること。
(所蔵していない資料や貸出中の資料を探すことほどフラストレーションを起こさせるものはない。多数の学生が必要とする資料は指定図書にすること。)
- 5) 無秩序状況を避けること。
(20~30人の学生が一冊の図書や論文、もしくは同一情報を使うような宿題は、図書のミス配架、紛失、破損につながる。多種多様なトピック与え、さまざまな資料を使わせるようにすること。)
- 6) 借り集めゲーム的宿題は避けること。
(不明瞭な事実の探索を宿題として出すと、学生にフラストレーションを起こさせ、そして、書庫の中で学生をパニック状態におちいらせる。そのような宿題は調査や研究に関しては何の役にも立たない。図

書館訓練（利用）を計画する際には、科目に相応な図書館調査計画について図書館司書と相談すること。）

7) 適当な時期に調査戦略について教授すること。

（調査戦略を教える時には、調査に必要な調査ステップを含めること。図書館司書を招いて宿題のための調査戦略をレビューし、適当なツールや資料について話し合うこと。）

このように、セントクレア氏は利用者教育と授業の関係を重視し、教授たちに宿題を与える際の注意を促している。

3.2 マリオット図書館における利用者教育の種類

大学図書館で行われる利用者教育には、大きく分けてレファレンス・カウンターで個人対象にインフォーマルに行われる利用者教育と、グループを対象とした計画的に実施されるフォーマルな利用者教育がある。マリオット図書館でもこの2種の利用者教育を行っている。インフォーマルに個人対象に行われる利用者教育の責任部署である「一般レファレンス部」は、次のように記している。⁹⁾

「一般レファレンス部」の使命は大学の教育目的を支援することであり、それは以下の4つのことを遂行することによって可能となる。

- a) 利用者が情報調査環境において、自己方向付けができる自主的な学習者になるよう教育すること。
- b) 批判的思考能力が開発・実践される環境の中で、教育経験としての研究プロセスを促進すること。
- c) 専門的学習および生涯学習を醸成するようなサービス志向の雰囲気を積極的に作り出すこと。
- d) 適切な蔵書構築とネットワークによって情報への最大限のアクセスを準備すること。

また、「一般レファレンス部」は、レファレンス・カウンターで何時でも利用者を個人単位で指導できるよう体勢を整えている、とも公知している。しかし、マリOTT図書館における利用者教育の最大の特徴は、フォーマルな利用者教育にある。マリOTT図書館は現在、セントクレア氏のリーダーシップの下、1) 短期クラス、2) 「作文 106」(Writing 106)、3) 「作文 330」(Researching the Social Sciences)、4) 「インターネット・ナビゲーター」(Internet Navigator) 等の独立科目、LEAP (Liberal Education Accelerated Program) という教養科目の中での必須部分としての利用者教育、他の科目で教員からの要求があった際の One Shot Instruction など、グループを対象としたさまざまな利用者教育を行っている。そして、それら利用者教育は情報リテラシーの習得に重きを置いている。以下、そのフォーマルな利用者教育のうち、短期クラスと独立科目について紹介する。

3.3 短期クラスの利用者教育¹⁰⁾

マリOTT図書館は、1コマ(50分)もしくは2コマ分の利用者教育を短期クラスと称し、次のような5種のワークショップ(クラス)を開いている。

1) オリエンテーション・クラス (Orientation Classes)

- a) 入門1 (Getting Started, Pt. 1) (ユタ大学の OPAC である UNIS の利用の仕方が教えられる。主題からの検索、ブーリアン演算、検索戦略等が説明・指導される。)
- b) 入門2 (Getting Started, Pt. 2) (Wilson Indexes や InfoTrac 等のデータベースを使っての雑誌記事の検索の仕方が教えられる。)
- c) 政府刊行物概論(政府刊行物の一般的紹介の後、紙メディア、MarioNet (マリOTT図書館の情報ネットワーク)、Web 上の政府刊

行物の検索の仕方が教えられる。)

- d) 科学コミュニティ (Community of Science) (Web 上のデータベースを使って、研究助成情報やさまざまな分野の研究者を探す方法が指導される。)
- 2) 一般的レファレンス・データベース (General Reference Databases)
- a) FirstSearch (3500 万の図書, 12000 の雑誌, 14000 の図書館の情報を含む 18 以上のデータベースからなる FirstSearch を如何に telnet や Web ブラウザーを使って検索するかが教えられる。)
 - b) SearchBank (General Reference Center, Health Reference Center, Expanded Academic Index, Business Index, SuperTon 等のフルテキスト・データベースの検索の仕方が教えられる。)
 - c) Databases from Home (モデム, Gopher, マリOTT図書館のホームページ等を利用して遠隔からデータベースへアクセスする方法が教えられる。)
 - d) Salt Lake Newspapers Online (ソルト・レイク市の新聞 The Salt Lake Tribune と Deseret News の検索法, 検索した記事のプリントアウトやダウンロードの方法が指導される。)
 - e) Lexis/Nexis (新聞, 雑誌, テレビやラジオの脚本, 連邦議会の議録等さまざまなファイルをもつ高価な商用データベースの検索, プリントアウトまたはダウンロードの方法が指導される。)
 - f) Resources in Education (ERIC や Education Index, さらに, Web 上の教育資源の探索の仕方が教えられる。)
- 3) 主題中心の利用指導 (Content-Based Instruction)
- a) 英文学 (MLA や Humanities Index も含めて, MarrioNet や Web 上の英文学資源の探索の仕方が教えられる。)
 - b) 演劇・映画 (Humanities Index や InfoTrac も含めて, MarrioNet

- や Web 上の演劇・映画関係の資源の探索の仕方が教えられる。)
- c) アジア研究 (Social Science Index や Humanities Index も含めて, MarrioNet や Web 上のアジア関係の資源の探索の仕方が教えられる。)
- 4) 科学・工学データベース (Databases for Science and Engineering)
- a) 物理・化学 (INSPEC, Chemical Abstracts, Analytical Abstracts の検索の仕方が教えられる。)
- b) 工学 (COMPENDEX, INSPEC, METADEX, Applied Science の検索の仕方が教えられる。)
- c) 生命科学 (生物学, 農学, 医学分野で利用可能なデータベースが紹介される。特に, MarrioNet と Web 上でアクセスできる BIOSIS の検索法について詳細に指導される。)
- d) 地球科学 (地質学と地理学のデータベース GEOREF と GEOBASE の検索の仕方が教えられる。また, 地図の探索法も指導される。)
- 5) インターネット (The Internet)
- a) インターネット入門 (E-mail, WWW, FTP, telnet, ニュースグループ, リストサーバおよびインターネットの構造について概説される。1 講目は講義とデモ, 2 講目は実習。)
- b) FTP と Archie (FTP サイトから実際にファイルを手に入れることによって, テキスト・ベースやグラフィックの FTP の実際がデモと共に概説される。また, FTP サイトのサーチ・エンジンである Archie を使ったファイルの探し方も指導される。)
- c) Search Engine (Web の効果的なサーフィンの仕方が教えられる。)
- d) HTML 入門 (1 部および 2 部) (HTML を使ったホームページの作成法が指導される。)(このクラスでは Web とワープロの知識

をもっていることを受講の条件としている。)

e) Web 上の資源の評価 (Web 上の資源の評価法が指導される。)

以上が短期クラスと呼ばれるワークショップであるが、指導回数の多さと内容の多様性には目を見張るものがある。特徴的なことは、政府刊行物概論の際の例外はあるものの、OPAC、図書館ネットワーク、データベース、インターネット等、情報技術の指導に集中していることである。

3.4 「作文 106」(Writing 106)¹¹⁾

1970年代から1980年代にかけて、全米的に大学生の文章能力が問題になった。その問題の解決策として、多くの大学で一般に「新生文章プログラム」(Freshman Writing Program)と呼ばれるカリキュラムが開発された。ユタ大学も例外ではなかった。「作文 106」(Writing 106)はそのようなプログラムの一環をなすものである。「作文 106」は1単位科目で、マリOTT図書館のレファレンス司書によって教えられる。科目の目標は、学生に図書館の施設と資源の利用法を習得させることである。学生は、研究課題を自分で決め、その課題を解決するために必要な印刷媒体および電子媒体の情報源の収集の方法を学ぶ。特に、「作文 106」では他のの科目で適用可能な調査戦略の習得が強調される。

3.5 「作文 330」(Writing 330 ; Researching the Social Sciences)¹²⁾

「作文 330」は、社会科学領域における図書館調査の能力を高め、その領域の哲学的問題に対して知識を広めることを望む上級学部学生のための3単位科目である。講師は Mary Reddict という図書館司書である。

Mary Reddict は、科目の目標を次のように記している。

a) マリOTT図書館および世界の研究図書館から入手可能な社会科学

分野の情報源を探索できること。

- b) 社会科学領域の研究者や実践家が自分たちの学問パラダイムを如何に理解し, 研究し, 発表するかということを理解する中で, 社会科学の哲学的問題を発見できること。
- c) 社会科学の学問的, 学際的発達および学術的成果の報告の中で, 社会科学領域の学問間の相互関係を理解できること。
- d) 作文技術を高めること。また, 情報を集め特定の問題解決に応用する能力を開発することによって, 書くプロセスを理解するよう奨励すること。

(科目のシラバスについては, 「資料 1」を参照。)

3.6 「インターネット・ナビゲイター」(Internet Navigator)

「インターネット・ナビゲイター」は, 学生がマイペースで進められるオンラインの自主学習形態の科目である。ユタ大学では, その科目を教育心理学科の科目(1単位)として開講している。しかしまた, 継続教育部の科目としても開講しており, 学生でなくとも受講することができる。因みに, 受講料は1995年現在, ユタ州出身の場合220ドル, ユタ州以外の受講生の場合は623ドルである。¹³⁾

「インターネット・ナビゲイター」は, 1996年にユタ州の高等教育技術計画(Higher Education Technology Initiative)からの助成を得て, エックルズ健康科学図書館とユタ州大学図書館協会(Utah Academic Library Consortium)によって実験プロジェクトとしてスタートした。プロジェクトの目標として, 次の4つをかかっていた。¹⁴⁾

- 1) 最新のインターネット技術を利用してインターネット関連の科目のモデルを作ること。
- 2) インターネットのツールを使うよう学生を教育し, 電子情報環境で

成功するのに必要な技術を学生に身に付けさせること。

- 3) 時間、距離および地域的障害を乗り越えた共同的、双方向的学習環境を作り出すこと。
- 4) ユタ州全域でアクセス可能な電子参考ツールを共同で作成すること。

実施にあたっては、エックルズ健康科学図書館がハードウェア、開発および専門家の準備を受け持ち、ユタ州大学図書館協会の他のメンバーはそれぞれのところで実施に移すための準備等で協力をした。プロジェクトは同年7月に最終報告を提出して終了したが、「成功」として評価され、現在(1997年)でもひきつづき10大学で開講されている。¹⁵⁾

科目は、次のように構成されている。

Module 1-Introduction to the Internet

Module 2-Communication over the Internet

Module 3-Internet Information Systems

Module 4-Resource Discovery

Module 5-Providing Information on the World Wide Web

Module 6-FTP and Remote Access (Optional)

学生は、上記のモジュールに従ってオンラインで自主学習をし、各モジュールの最後に付いている小テスト、宿題およびプロジェクトを成し遂げることになっている。そして、モジュール5を終了すると単位を習得することができる。

履修後は、Netscape Navigational Tools, Hyperlinks, Netscape Toolbar, Location Field, Directory Buttons, Bookmarks, US Network Backbone, Client/Server Model, Internet Protocols, Email, Client Software for Email, Usenet News, Information Systems, WWW, Multimedia on the Web, Telnet to remote computers, Gopher Menus, Internet Catalogs (Directories), Internet Indexes, Research

Strategies; Evaluation of Internet Information, HTML 等についての知識もしくはそれらを使う能力が身に付くことになっている。¹⁶⁾ (科目のシラバスについては「資料2」を参照。)

「インターネット・ナビゲイター」には、学生の質問に答えたり、宿題や成績を評価をする ‘preceptor’ と呼ばれる教師が電話番号および e-mail アドレス付きでリストされている。その教師は 10 大学ともすべて図書館司書である。ユタ大学の場合、マリOTT図書館、エックルズ健康科学図書館、法学図書館の 3 人の図書館司書が教師としてリストされている。¹⁷⁾

学生は登録に際して、Windows とマウスに関するある程度の知識を持っていることを条件付けられている。また、各学生が有している情報技術の能力に関するアンケート調査にも答えなければならない。¹⁸⁾ (アンケート内容については「資料3」を参照。)

オンラインの自主学習科目「インターネット・ナビゲイター」について、開講しているユタ州大学図書館協会のメンバーは次のような評価を下している。¹⁹⁾

情報の探索および提供において電子メディアに頼る率はますます高くなり、情報技術は重要になってきた。要求の高いインターネット技術の科目を開講することによって、ユタ州の学生にそのような情報技術の能力を身に付けさせることができるであろう。最新のインターネット技術を使って効率的な探索法と必須の情報源へのアクセス法を教えるならば、それは大学の正規の教育としてだけでなく、生涯学習のための技術としても重要になるであろう。

以上、短期クラスの利用者教育（ワークショップ）と独立科目を中心に

マリOTT図書館における利用者教育を紹介したが、それらのプログラムは、1994年に技術指導図書館員の職種が設けられて気鋭の図書館員が採用され、さらに1996年には指導課が設けられて刷新的な課長が任命された、その以降順次整備されていったものである。それ以前は、短期クラスの利用者教育はなく、独立科目も「作文106」のみがあるだけであった。LEAPももちろんなかった。その代わり、他大学図書館によく見られる One Shot Instruction が広く採用されていた。しかし、情報技術に象徴される情報化社会が大学および大学図書館に浸透するにつれて、マリOTT図書館は従来の利用者教育プログラムを大変革させたのである。

4. わが国の大学図書館における利用者教育との比較

これまでユタ大学の実質的中央図書館であるマリOTT図書館における利用者教育を概観したが、次にわが国の大学図書館における利用者教育との比較を試みる。

筆者は共同研究の一環として、1993-1995の3ヶ年にわたり、わが国の大学の中央図書館における利用者教育の実態を調査した。²⁰⁾その調査の結果、わが国では一般的に「図書館ガイダンス」と呼ばれているオリエンテーション以外の利用者教育を行っている図書館は約56%であることが分かった(大規模大学約72%, 中規模大学約64%, 小規模大学約47%)。そして、OPACの使い方の指導に関しては、約35%の図書館しか行っていないことも分かった(大規模大学約58%, 中規模大学約44%, 小規模大学約24%)。CD-ROMの使い方の指導をしている図書館はたったの約27%(大規模大学約37%, 中規模大学約32%, 小規模大学約22%)で、商用データベースの使い方の指導を行っている図書館はさらに少なく、約11%であった(中規模大学約11%, 小規模大学約10%)。²¹⁾要約すれば、

わが国ではオリエンテーション以外の利用指導を行っている大学図書館は約50%を少し超えるくらいで、ニューメディアの利用指導となるとさらにその半分くらいになるということである。なお、それらは3~4年前の調査結果であり、現在(1996~97年)の状況を必ずしも正確には反映していないが、現在でも大きな変化はないと推測される。

次に、わが国で利用者教育が最も進んでいる大学図書館の一つと言われている京都産業大学の例を取り上げて比較を試みる。1997年の京都産業大学の利用者教育計画は、次の通りとなっている。²²⁾

新入生対象(クラス・個人・グループ単位)

実施時期:4月~6月,9月~11月の1~4時限;内 容:中央図書館
利用案内・館内案内・オンライン目録利用法(実習)など;時間:90
分

演習・プロゼミナール履修学生対象(クラス単位)

実施時期:4月~6月,9月~11月の1~4時限;内 容:文献探索法
・参考図書を紹介・CD-ROMの紹介と利用法(実習)・オンライン
目録利用法(実習)など;時間:90分

大学院生対象(個人・専攻科グループ単位)

実施時期:4月下旬;内 容:文献探索法・オンライン情報検索サー
ビス(データベース)の紹介・院生用図書の購入申し込み方法など;
時間:90分

留学生対象

実施時期:4月初旬;内 容:中央図書館利用案内・館内案内・オン
ライン目録利用法(実習)など;時間:90分

一般学生対象(個人・グループ単位)

実施時期:9月~11月毎週水曜日午後;内 容:テーマ別文献探索法

・オンライン目録利用法・CD-ROM の紹介と利用法；時間：60分

新任教員対象（個人・グループ単位）

実施時期：4月初旬～；内 容：中央図書館利用案内・オンライン目録利用法（実習）・館内案内・研究用図書 の購入・申し込み方法など；時間：90分

教員対象（個人・グループ単位）

実施時期：随時；内 容：中央図書館利用案内（貸出・レファレンス・相互利用・オンライン情報検索サービス）・オンライン目録利用法（実習）・研究用図書 の購入申し込み方法；時間：60分

職員対象（個人・グループ単位）

実施時期：9月上旬；内 容：中央図書館利用案内・館内案内・オンライン目録・CD-ROM 利用法（実習）；時間：60分

京都産業大学では過去4-5年間上記のようなプログラムで利用者教育を実施し、毎年2,000人を超える学生が参加するようである。²³⁾他の大学図書館からみれば羨ましい限りである。しかし、ユタ大学と比較した場合、京都産業大学のそれはユタ大学で行っている短期クラスのカテゴリーに属する利用者教育である。内容的には、その中の「オリエンテーション・クラス」のものを指導しているにすぎない。主題ごとのデータベースや最近ホットなトピックになっているインターネットの利用指導はほとんど行われていない。データベースやインターネットがアメリカ主導で開発されてきていることを考慮すると、利用指導における日米のそのような格差は仕方がないようにも思われるが、格差の原因はそれだけではない。わが国の大学図書館でも主題別のCD-ROMデータベースやインターネットの利用指導に積極的に取り組んでいるところがある。例えば、大阪市立大学学術情報総合センターでは1997年度の前期にLAN対応のCD-ROM

(Medline と Current Contents) の使い方の指導を 5 回実施しており,²⁴⁾立命館大学図書館では教員や大学院生が対象ではあるが, telnet/www の講習会を毎月開催している。²⁵⁾また, 同志社大学の学術情報センターでは 1997 年度の前期に以下のような講習会を計画し開催している。²⁶⁾

MS-Word の講習会-5月21日, 5月23-24日, 5月26日, 5月27日
(毎回90分)

MS-EXCEL の講習会-5月19日, 5月20日, 5月28日, 5月30日
(毎回90分)

インターネット説明会-第1回:「キャンパスで使うインターネット」
(6月30日), 第2回:「自宅から使うインターネット (6月25日),
第3回:「世界につながるインターネット」(7月1日) (毎回90分)

電子メール (入門編) -5月13日, 5月23日, 5月28日, 6月30,7月
4日, 7月9日 (毎回90分 受講条件: Windows 95 の基本操作ができること)

電子メール (応用編: ファイル転送, 作成法等) -5月19日 (90分)

このように, 同志社大学ではワープロや表計算ソフトに加えて, インターネットの利用指導にもいち早く取り組んでいる。なお, 同志社大学では情報教育を重視し, 1997年度から新生全員にインターネットのユーザIDを与えている。今出川図書館のメインカウンターにはインターネットの使えるデスクトップ・コンピュータが16台備えられ, 検索補助員も常駐している。そのコーナーは学生が最も多く利用する場所となっている。

しかし, 同志社大学の場合, 図書館は特殊な組織になっている。同志社大学では, 図書館と計算機センターが統合して学術情報センターという組織になっている。大学の情報教育の重視に呼応して, 学術情報センターの

中の旧計算機センターに相当する情報システム課が主催者となり、上記のような講習を開催している訳である。そのような組織状況では、純然たる図書館の利用指導とは言えないかもしれない。²⁷⁾

同志社大学のインターネット関連の講習もユタ大学と比較した場合、ユタ大学の短期クラス「インターネットの利用指導」の中の「インターネット入門」に相当する内容の指導で、Archie, Search Engine, HTML, Web上の資源の評価法等は含まれていない。なお、オンラインの自主学習科目「インターネット・ナビゲイター」などを学術情報センターが開講するということはとうてい考えられない。

ユタ大学のマリOTT図書館で実施していて、わが国では想像もできない利用者教育は上記の「インターネット・ナビゲイター」に加えて、「作文106」(Writing 106), 「作文330」(Researching the Social Sciences)等の単位を与える独立科目であろう。図書館司書が独立科目の担当教員になるということは、アメリカでは必ずしも珍しくない。²⁸⁾何故そのようなことがアメリカの大学図書館で可能であろうか。それは、アメリカでは司書職制度が確立しており、さらに、約100の大学では図書館司書はファカルティ・ステイタスを与えられ、大学教員と同等の待遇を受けているからである。²⁹⁾特に、ファカルティ・ステイタスを与えられている大学で独立科目を教えている図書館司書が多い。ユタ大学もその一つである。

5. 結 び

以上、ユタ大学の実質的中央図書館であるマリOTT図書館における利用者教育について紹介し考察を試みた。アメリカの大学図書館では、「利用者教育」は「情報リテラシー教育」に移行しつつあり、その典型をユタ大学のマリOTT図書館に見ることができた。マリOTT図書館は利用者

教育を重視して指導課を創設し、情報リテラシーの習得を主目標とするさまざまな利用者教育プログラムを提供していた。短期クラスと呼ばれる20種以上のワークショップに加えて、「作文106」、「作文330」、「インターネット・ナビゲイター」等の独立科目が開講され、それらは図書館司書によって教えられていた。わが国の大学図書館における利用者教育と比べると格段の差があった。特に、独立科目に関しては、わが国では想像もつかないことであった。

しかし、ユタ大学が開催している短期クラス程度の利用者教育ならば、わが国の大学図書館でも十分可能性はある。例えば、同志社大学を例に取るならば、情報サービス課が京都産業大学が実施しているような利用者教育を実施し、さらに、同志社大学が所蔵している50点以上のCD-ROMおよび日経テレコン等の商用データベースをユタ大学のように類別化して指導するならば、ユタ大学の短期クラスにかなり近い形の利用者教育が可能になると思われる。

図書館と計算機センターがそれぞれ独立している大学では、同志社大学と異なり組織的な協力体制をまず確立する必要がある。しかし、協力体制さえ整えば、図書館サイドは京都産業大学のような図書館ガイダンス、計算機センターは同志社大学学術情報センターの情報システム課が主催しているような講習を取り入れ、それらにプラスアルファすれば、ユタ大学の短期クラスに近い形の利用者教育ができると思われる。

いずれにしても、わが国の大学図書館では、図書館司書がデータベースについての知識および利用能力、telnetやWeb上の情報源の探索および評価能力を現状以上に習得する必要がある。そして、それ以前に、大学当局に図書館の教育的機能を認識させ、質量共に十分な図書館司書を配置させる必要もあろう。

注

- 1) 大城善盛「米国の大学図書館における利用者教育の動向」所収：『図書館における利用者教育』（論集・図書館学研究の歩み 第14集）（日外アソシエーツ，1994，p. 153-176）
大城善盛「UCLA 図書館における利用者教育」『同志社図書館情報学』7号（1996），p. 1-24.
- 2) *The College Blue Book, 1; Narrative Descriptions*. 25th ed. New York, Macmillan, 1995, p. 809.
World of Learning, 1997. London, Europa Publications, 1997, p. 1846-47.
- 3) *American Library Directory, 1996-97*. vol. 1. New Province, Bowker, c 1996, p. 1981-82.
University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu>>
- 4) *American Library Directory, 1996-97*. vol.1. op. cit.
University of Utah. Spencer S. Eccles Health Sciences Library. <<http://www-medlib.med.utah.edu/faculty/faculty.html>>
- 5) *American Library Directory, 1996-97*. vol.1. op. cit.
University of Utah. Law Library. <<http://lawlib.law.utah.edu>>
- 6) University of Utah. Marriott Library. Division of Instruction. <<http://www.lib.utah.edu/instruction/newsletter/summer96/stclair.html>>
ユタ大学の技術指導図書館員 Kenning Arlitsch 氏からの e-mail.
- 7) St. Clair, L, "Resource-Based Learning: Opportunities for Collaboration," *Library Instruction*. vol.4, no. 2 (Spring 1997) <<http://www.lib.utah.edu/instruction/newsletter/spring97/resource.html>>
- 8) St. Clair, L, "Effective Library Assignment Guidelines," *Library Instruction*. vol. 4, no. 1 (Winter 1997) <<http://www.lib.utah.edu/instruction/newsletter/winter97/assign.html>>
- 9) University of Utah. Marriott Library. General Reference. <<http://www.lib.utah.edu/genref/genref.html>>
- 10) University of Utah. Marriott Library. Division of Instruction. <<http://www.lib.utah.edu/instruction/shortcls.html>>この短期クラスの中でインターネットの利用指導も行われているが、マリOTT図書館には技術指導図書館員 (technology instruction librarian) の肩書きをもつ図書館員がいて、その人が担当している。
- 11) University of Utah. Marriott Library. Division of Instruction. <<http://www.lib.utah.edu/instruction/w106/gate.html>>
- 12) Reddick, M. "Researching the Social Sciences." <<http://www.lib.utah.edu/instruction/w330/syllamar.html>>

- 13) University of Utah. Marriott Library. <http://www.lib.utah.edu/navigator/register/uu_reg.html>
- 14) University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/intro/intro.html>>
- 15) Ibid. その10大学の名称は, Brigham Young University, College of Eastern Utah, Dixie College, Salt Lake Community College, Snow College, Southern Utah University, University of Utah, Utah State University, Utah Valley State College, Weber State University である。
- 16) University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/netscape/toc.html>>
 University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/email/email.html>>
 University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/systems/infosystems.html>>
 University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/discovery/discovery.html>>
 University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/publish/publish.html>>
- 17) University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/preceptors/preceptors.html>>
- 18) University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/forms/survey.html>>
- 19) University of Utah. Marriott Library. <<http://www.lib.utah.edu/navigator/intro/intro.html>>
- 20) 大城善盛 (他)「大規模大学図書館における利用者教育の実態——平成5年度調査」『図書館学会年報』vol. 40, no. 4 (Dec. 1994), p. 133-144.
 村上泰子 (他)「中規模大学図書館における利用者教育の実態——平成6年度調査」『図書館学会年報』vol. 41, no. 3/4 (Dec. 1995), p. 145-156.
 村上泰子 (他)「小規模大学図書館における利用者教育の実態——平成7年度調査」平成7年度日本図書館学会研究総大会発表
- 21) 上掲注19) なお, OPAC, CD-ROM, 商用データベース等のニューメディアの利用指導に関しては, わが国の場合それらニューメディアを所蔵もしくは導入していない図書館も存在するが, 本文の%はそれらの図書館も含めてたものである。なお, 大規模大学図書館について商用データベースの項目が抜けている理由は, 1993年の調査時点でその種の利用教育を行っている図書館は極めて稀であると判断し, 調査項目に入れてなかったためである。
- 22) 京都産業大学図書館. <<http://wwwlib.kyoto-su.ac.jp/guidance.htm>>

- 23) 『京都産業大学図書館年報』1990(9号) - 1997(16号) 京都産業大学図書館, 1990-1997.
赤瀬美穂 石田俊郎「大学図書館における利用者教育——京都産業大学図書館の事例」所収:『図書館における利用者教育』(論集・図書館学研究の歩み 第14集)(日外 アソシエーツ, 1994. p. 193-206)
- 24) 大阪市立大学学術情報総合センター. <<http://libhome.media.osaka-cu.ac.jp/opcdg.html>>
- 25) 立命館大学図書館. <<http://www.ritsumeit.ac.jp/www-lib/tayori/79/sokushin.htm>>
- 26) 同志社大学の講習会については、掲示板に貼ってある案内に基づいている。
- 27) ユタ大学も同志社大学同様、図書館と計算機センターは統合しているのではと疑問をもつ人がいるかもしれない。ユタ大学には独立した計算機センター(Computing Center)があり、さまざまなサービスをしている。その中には短期講習会もあり、1) インターネット・セミナー、2) マック講習会、3) PC講習会等が含まれている。因みに、1997年夏のインターネット・セミナー(短期講習会)の内容は、a) E-mail: Basic, b) Internet History, Jargon and Etiquette, c) What is the World-Wide Web?, d) The Internet Client Kit, e) Modems and Dialup, f) Basic Unix, g) PGP: Pretty Good Privacy, h) Transferring Files via Modem (s), i) MIME: Multipurpose Internet Mail Extensions. j) E-mail Listserve, k) News Group 等となっている。(参照: <http://nb.cc.utah.edu/short/short.html>)
- 28) ユタ州以外で図書館員が教えている大学の例: Central Missouri State University; SUNY Plattsburgh; Northen Kentucky University; California State University, Chico; California State University. San Marcos.
- 29) アメリカで大学図書館司書がファカルティ・ステイタスをもつようになった要因として、司書たちの不断の権利闘争なども含めて複数の要因が考えられるが、最も大きな要因はその養成制度にある。アメリカの図書館司書は大学院で養成され、そして、多くの大学図書館が大学院修了だけでなく、アメリカ図書館協会(American Library Association)という職能団体が認定している図書館情報学部の大学院を修了していることを雇用の条件としている。*American Library Directory, 1996-97*によると、1996年現在、アメリカ合衆国には大学院の図書館情報学部は61学部あるが、そのうち11学部がアメリカ図書館協会の認定を受けることができない状態にある。

(この小論は、同志社大学の学術奨励研究費による研究成果の一部をなすものである。)

資料 1 : RESEARCHING THE SOCIAL SCIENCES (部分的シラバス)

by Mary Reddick

Required Texts

Fay, Brian. *Contemporary Philosophy of Social Science : A Multicultural Approach*. Oxford : Blackwell Publishers, 1996.

Goodman, Robert F. and Fisher, Walter R. *Rethinking Knowledge : Reflections Across the Disciplines*. New York : State University of New York Press, 1995.

"Navigating Among the Disciplines : The Library and Interdisciplinary Inquiry," edited by Carole L. Palmer. *Library Trends* (Fall, 1996).

Course Description

This three credit course is designed for upper level undergraduate students who would like to improve their library research skills and broaden their awareness of philosophical issues in the social sciences. Reading, writing, and researching emphasis is placed on non-quantitative, cross-disciplinary issues in the social sciences.

Course Objectives

- a) To explore information sources in the social sciences that are available in the Marriott Library and other research centers throughout the world.
- b) To discover philosophical issues in the social sciences that are relevant to the ways in which the various practitioners of the disciplines understand their disciplines and disseminate their research, writing, and publication.
- c) To understand the development of disciplinary and cross-disciplinary assumptions and interrelationships among scholarly publications in the social sciences.
- d) To improve writing skills and to encourage an understanding of the writing process by cultivating the ability to gather and apply information to specific problem solving tasks.

Course Requirements and Grading

Bibliography : 60 points total (12 citations @ 5 points each)

Class Presentation : 20 points total

Journal Writing : 100 points total (4 assignments @ 25 points each)

Quizzes 20 points total (4 quizzes @ 5 points each)

Bibliography

Each student is expected to compile a bibliography of twelve sources. The topic of the bibliography is at the discretion of the student, but it should be related to an issue or issues in the philosophy of the social sciences. The sources listed in the

bibliography must be derived from at least five different databases or electronic resources accessible in the Marriott Library. Of these five, one citation must be to a full text document found on the World Wide Web. The sources must be cited in an acceptable bibliographic style, such as the MLA Handbook, Turabian's Manual for Writers, or the Chicago Manual of Style. The database or other electronic resource in which the citation was found should follow each citation in parentheses.

Example : Axtell, Guy S. "In the Tracks of the Historicist Movement : Re-Assessing the Carnap-Kuhn Connection." *Studies in History and Philosophy of Science* 24 (1993) : 119-146. (Historical Abstracts)

Class Presentation

The final two days of class have been reserved for class presentations. Each student will present and describe the particular search strategy and Search Engine or other method of searching the Web that was used to find the full text document that is cited in your bibliography.

Journal Writing

Each student is expected to write two or three pages in response to each journal assignment. Your journal may be in any form that you prefer : You may use a word processor, a typewriter, or write by hand in a spiral notebook or on separate pieces of blank or lined paper. Although the primary purpose of the journal assignments is to promote critical thinking about the reading assignments, neatness, good grammar, and proper spelling are encouraged.

Quizzes

There will be four very short in-class quizzes. The purpose of these quizzes is to encourage frequent reflection about the central issues involved in the reading assignments.

Class Participation

The success of this class is dependent upon each student's preparedness and willingness to participate in weekly class discussions.

Internet Account

Each student is expected to have Internet access and services. If you do not yet have access to the Internet, please set up immediately an electronic mail account with the University of Utah Computer Center.

Plagiarism

According to the MLA Handbook for Writers of Research Papers, plagiarism means using another person's ideas or expressions in your writing without formal acknowledgment. Any student found guilty of plagiarism in this class will receive a failing grade.

資料 2 : Internet Navigator Course Modules-Syllabus (部分)

Module 1-Introduction to the Internet

Module 1 will introduce you to the basic Internet concepts. Start by taking the Netscape Tutorial which teaches basic navigation techniques. Proceed next to the Internet Overview which covers the evolution of the Internet and explains basic principles behind "the Net."

Things To Do : Take the Netscape tutorial.
Go through the Internet Overview.
Practice Netscape using the navigation techniques outlined in the tutorial.

Glossary for Module 1

QUIZ

Module 2-Communicating over the Internet

The Internet is a powerful tool for communication. A variety of means of electronic communication are available. Here, we will examine the most widely used communication tools, electronic mail and Usenet newsgroups.

Things To Do : Select a topic to research throughout this course.
Find a mailing list related to your topic and subscribe. (If you are unable to find a list related to your topic, find a list of interest and subscribe.)
Find a Newsgroup article related to your topic. Identify the newsgroup to which this article was posted.

Assignments : 1. Subscribe to the mailing list for Internet Navigator students.
(There are instructions in the electronic mailing list section of this module.)
2. Send a message to the Navigator list to introduce yourself to the other Navigator students around the state. In this message, describe the topic you have selected.

3. Send email to your preceptor with names of newsgroups you found useful in researching your topic.

Glossary for Module 2

QUIZ

Module 3–Internet Information Systems

Internet information can be provided in many ways. This module explains the various information systems and allows you to examine a wide variety of electronic resources and collect those of interest.

Internet Resources available through Utah Academic Libraries

Things To Do : Create a bookmark list with Internet resources on your selected topic.

Glossary for Module 3

QUIZ

Module 4–Resource Discovery

There are many ways to locate resources on the Internet. This module will examine some of the tools available to help you search for information on specific topics. You will investigate Internet catalogs, which organize resources by subject. You will also be introduced to Internet indexes, which allow you to search using keywords. Research strategies will be presented and you will be expected to develop criteria for evaluating resources on your chosentopic.

Things To Do : Use YAHOO or another Internet catalog to locate resources on your topic.

Use Alta Vista or another Internet index to search for and locate resources on your topic.

Evaluate the resources you find based on specific criteria.

Assignments : 1. Create an annotated list of the best 5 resources on your topic and email the list to your preceptor. Describe your experience with Internet catalogs and Internet indexes.

Explain the criteria you used to evaluate the resources and justify your top 5 choices.

Glossary for Module 4

QUIZ

Module 5–Providing Information on the World Wide Web

The most popular way to provide information on the Internet is via a World Wide

Web Home Page. This module will introduce you to the HyperText Markup Language used to create Web pages. Your final project will be a Web page listing the best 5 resources you found on your chosen topic.

Assignments : 1. Create a Web page which lists your top 5 resources. You may use the form or the template provided to create your page. You may also design your own home page to display the information if you feel adventurous with your new HTML skills. The page must include : your name, your topic, The criteria you used to evaluate your resources, a link to each resource, and a brief description of each resource with an explanation of why you selected it.

Glossary for Module 5

QUIZ

Module 6--FTP and Remote Access (OPTIONAL)

There are no assignments for this optional module. This information is provided as additional information for those interested in learning more about downloading files and dial up, or remote, access to the Internet.

注：下線を引いてある部分はそこをクリックすると、その部分と関連あるより詳細なファイルへジャンプする。

資料 3 : Internet Navigator Student Skills Surveys

(This survey will be kept strictly confidential and used only for evaluating the success of this new course)

- 1) Are you a distance learning, non-traditional or traditional student?

Distance Learning	Traditional
Non-Traditional	
- 2) How did you learn about the Internet Navigator course ? (Select all that apply)

Course Bulletin	Course Schedule
Flyer	Ad in Newspaper
Poster in Hallway of Buildings	Word of Mouth
Faculty Advisor	E-mail Announcement
Internet Search	other
- 3) Do you have a computer at home?

Yes	No
-----	----
- 4) Do you have a computer at work (for your own use) ?

- | Yes | No |
|---|-------------------|
| 5) For the computer you use most, how often do you use it? | |
| Daily to Weekly | Weekly to Monthly |
| Less than Monthly | Very Rarely |
| Never | |
| 6) How much have you used the Internet? | |
| Daily to Weekly | Weekly to Monthly |
| Less than Monthly | Very Rarely |
| Never | |
| 7) If you have used the Internet, which services have you used? | |
| (Select all that apply) | Email |
| Listservs | Newsgroups |
| Telnet | Downloading Files |
| FTP | Gopher Menus |
| World Wide Web | |
| 8) Have you used other Online Services? (Select all that apply) | |
| America Online | Compuserve |
| Genie | Prodigy |
| Delphi | **Other |
| None | |
| **If Other, which online services have you used : _____ | |
| 9) Have you used any of the following online databases and indexes? | |
| (Select all that apply) | |
| Indexes of journal or magazine articles | Medline |
| Lexis/Nexis | First Search |
| **Other | None |
| **If Other, which online databases or indexes have you used : _____ | |
| 10) I want to learn about the Internet because : _____ | |
| 11) My expectations for the course are : _____ | |